

Cisco AMP for Endpoints

アンチウイルスから最新の標的型攻撃までトータルで防御

ここ数年、マルウェアやランサムウェアによる情報漏えい被害の報告があとを絶ちません。それは、マルウェアやランサムウェアを瞬時に100%阻止するセキュリティ製品が、現状、存在しないからです。マルウェアからの被害拡大の防止、迅速な原因解明を行い、情報漏えいを阻止し、実務への影響を最小限に抑える EDR (Endpoint Detection and Response) 製品でさえも、導入検討時には、多くのお客様がさまざまな課題や懸念を持っています。Cisco AMP for Endpoints は、これらの課題を解決できる製品です。

● 検討中のお客様から聞かれる課題、懸念

どれを選べばいいのかわからない

大きな予算は取れない

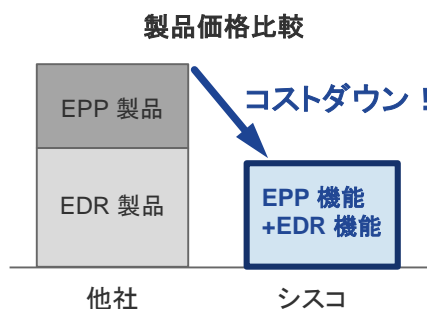
投資効果を最大にしたい

● Cisco AMP for Endpointsのメリット

1 発生前から発生後まで1つの製品でカバーできる

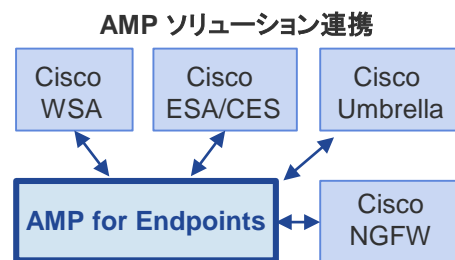


2 トータルでコストダウンを実現



1つの製品にまとめることで、トータルでのコストダウンが実現

3 連携して脅威を阻止する製品が選べる



境界セキュリティ対策と連携し、1カ所で検知した脅威をほかのすべてで阻止

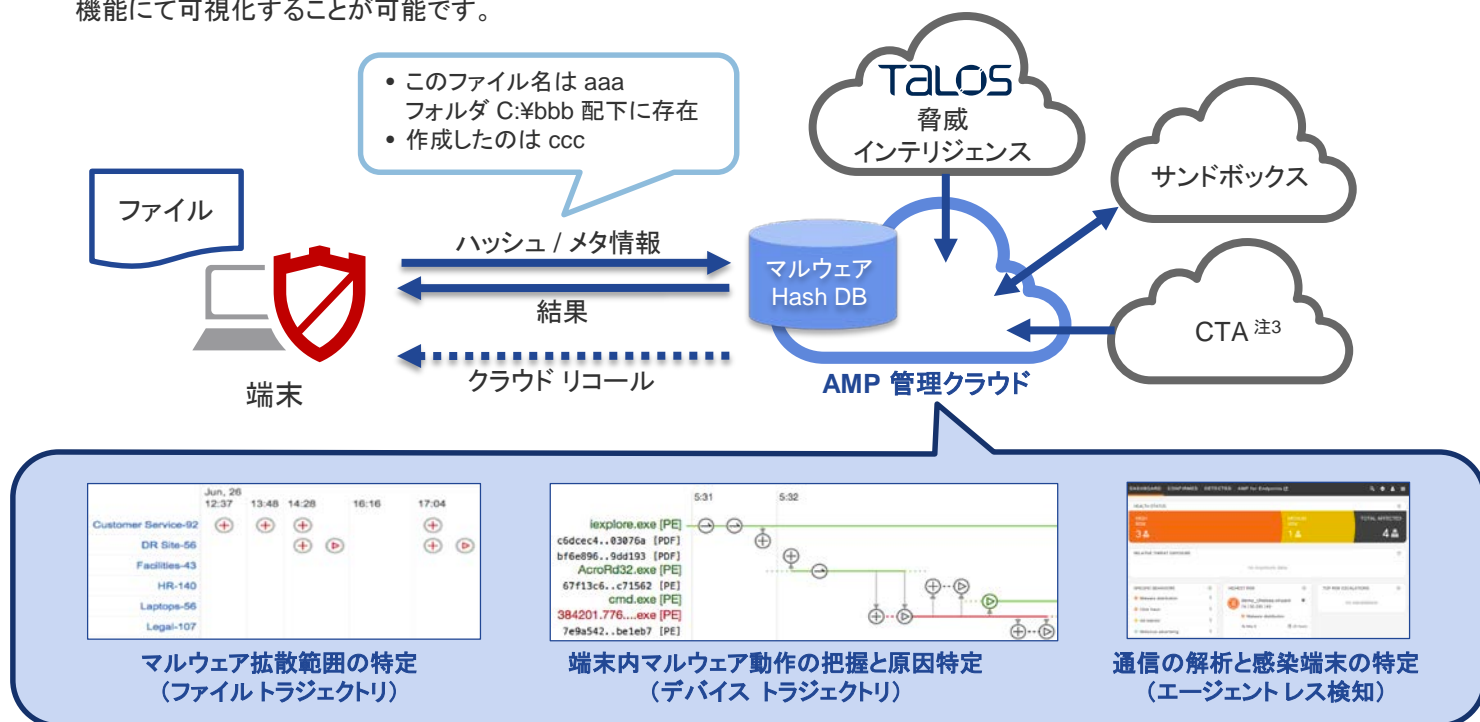
Cisco AMP for Endpoints で解決!

注1 EPP (Endpoint Protection Platform) とは、アンチマルウェア、パーソナル ファイアウォール、ポートおよびデバイスの制御を行う製品を指します。

注2 EDR (Endpoint Detection and Response) とは、セキュリティインシデントの検知、封じ込め、調査および復旧を行う製品総称を指します。

● Cisco AMP for Endpoints の基本動作

Cisco AMP for Endpointsは、エージェントを端末、サーバにインストールすることで、ファイルのレピュテーション(ハッシュ等)チェック、サンドボックスや通信の解析を通じてマルウェアを検知します。未知のマルウェアについても、トラジェクトリ機能にて可視化することが可能です。



● Cisco AMP for Endpoints 導入オプション

Cisco AMP for Endpointsの導入については、お客様のクラウド利用可否等のポリシーにもとづいて、パブリッククラウド型とオンプレミス型のいずれかを選択することが可能です。



注3 CTA(Cognitive Threat Analytics)とは、お客様のプロキシ ログを解析することによりすべての端末からのトラフィック統計を元に、表現されるユーザのモデリングを通じて脅威を検知する技術です。

©2017 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco, Cisco Systems, およびCisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は2017年5月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社
〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー
<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先